



### 東京2020 パラリンピック聖火 競技場で選手を照らす

8月に加西市、西脇市、三木市、加東市、多可町が集まり、採火式が行われました。加西市での数日間の展示の後、神戸総合運動公園での集火式を経て東京に送り出され、日本各地の火を元にしてパラリンピック聖火が灯りました。加西市からは障がい者福祉のためにご尽力されている、身体障害者福祉協会の増田会長に採火および集火の役目を担われました。



### 佐渡裕さん指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団演奏会

世界的な指揮者の佐渡裕さんが指揮する兵庫芸術文化センター管弦楽団による加西公演（明日来の会主催）が4年ぶりに加西市民会館で開催されました。当日はコロナウイルス感染症対策のため、定員の約半分（400人）の観覧となりましたが、迫力のある演奏と美しい音色が会場に響き渡り、素晴らしい演奏会となりました。



### 花いっぱい運動！播磨農高生 市内老人クラブに葉ボタンの苗配布

9月29日、30日に播磨農高にて同校生徒が育てた葉ボタンの苗12,000株を、各町老人クラブに配布しました。配られた葉ボタンの苗は、各町老人クラブが管理する花壇に植え替えられて冬の加西を彩ります。三浦妃礼さん（2年）は「花壇に植わった葉ボタンはかわいい。市内各地に広がったらうれしい」と話しました。



### 飯盛野疏水へ理解深める 栴屋ダムなど施設を下里小が見学

加古川西部土地改良区では、市内を流れる「飯盛野疏水」や多可町にある「栴屋ダム」などの関連施設について、小学4年生を対象に見学会を実施しています。これは、社会科学習「郷土の発展につくす」のなかで毎年行っているものです。10月7日に開催された下里小見学会のなかで、宮崎裕也君は「昔の人は広い池や長い疏水を手作業で作っていたのすごかった」と述べ、職員の説明を興味深く聞いていました。



### 北条鉄道 各駅で鉄道まつり 播磨横田駅ではコンサートを開催

北条鉄道各駅で、「第13回北条鉄道まつり」が開催されました。ミニ鉄道乗車体験や、鉄道グッズなどの販売、ボランティア駅長らによる切り絵教室などにぎわいました。中でも播磨横田駅では、コンサートがあり、ボランティア駅長の神月絢野さんが作曲した「北条鉄道組曲」が初めて披露されました。参加者のひとり「とても新鮮で楽しかった。音楽を聴いて心が和みました」と話しました。



### 出来栄えに満足 西在田小児童ら ものづくり体験

ものづくりに親しみや関心を持ってもらおうと、経験豊かな技能士を招き、西在田小学校4年生から6年生33人がものづくり体験を行いました。今回は寝具製作、畳製作、表装の3職種の団体にお世話になりました。児童たちは丁寧な実技指導を受け、ものづくりの楽しさや魅力を体感し、手作りのオリジナル作品を完成させました。



### 地域を守る！ 農地の活用に向けてパトロール

加西市農業委員会（吉田一男会長）は、農業委員、農地利用最適化推進委員、農政課、事務局職員で農地パトロールを行いました。農地パトロールは、農地利用の最適化の推進に向けて、利用状況を的確に把握するための重要な業務であり、9月3日から10月7日にかけて実施しました。



### 和綿、洋綿の収穫期到来 宇仁小で綿の摘み取り

宇仁小学校3年生15名が市浦央子さん（鶯野町）の協力のもと、校内の花壇で育てた綿花の収穫を行いました。これは総合的な学習の時間の一環で毎年行っているものです。収穫した綿の実はきれいに割れ、中から真っ白な綿花が広がりました。繁田和果さんは「綿はふわふわしていた。いっぱい採れてうれしかった」と笑顔で話しました。

